



宗教活動におけるマイクロアグレッション

キリスト教会の日常に潜む暴力と向き合う

10月16日発売

コディ・J・サンダース、アンジェラ・ヤーバー [著] / 真下弥生 [訳]
加害の実態と構造を説明し、和解への道筋を探る

マイクロアグレッションとは、日常の親密圏で生じる人種・ジェンダー・セクシュアリティなどの属性にまつわる攻撃である。それは社会に埋め込まれた偏見を無邪気・無反省に再生するものから意識的な嫌がらせまで広範にわたる。「善意の人々」が集う教会でもそれは頻発する。本書は教会が包摂的な愛の共同体として自己変革していくための方法を模索する。

◆ 四六判・296頁・定価2970円

【著者】Cody J. Sanders ルーテル神学校（米国ミネソタ州セントポール）准教授。テキサスクリスチャン大学ブライト神学校博士課程修了。神学博士。

Angela Yabber Tehom Center 代表。連合神学大学院博士課程修了。神学博士。

宗教活動における
マイクロアグレッション

キリスト教会の日常に潜む暴力と向き合う

コディ・J・サンダース、アンジェラ・ヤーバー 著
真下弥生 訳

Microaggressions in Ministry:
Confronting the Hidden Violence of Everyday Church
Cody J. Sanders & Angela Yabber

新教出版社

【訳者】 ましも・やよい 東京神学大学・東京外国語大学・青山学院大学非常勤講師。ジョージ・ワシントン大学教育・人間発達大学院修士課程博物館教育専攻修了。

【目次より】

第1部 マイクロアグレッション入門

第1章 マイクロアグレッション入門

第2章 魂の収奪

——教会におけるマイクロアグレッション

第2部 マイクロアグレッションの標的

第3章 マイクロアグレッションと人種

第4章 マイクロアグレッションとジェンダー

第5章 マイクロアグレッションと性的指向、ジェンダー・アイデンティティ

第3部 宣教実践の中のマイクロアグレッション

第6章 言葉によるマイクロアグレッション

——説教と教育

第7章 音楽、空間、祈りにおけるマイクロアグレッション——礼拝と霊性

第8章 教会関係の中のマイクロアグレッション

——ケアとカウンセリング

見知らぬ神の跡を辿って

新約聖書とギリシア・ローマ世界

10月17日発売

川島重成「著」

◆四六判・368頁・定価3300円

二つの思想の響きあいにより耳を澄ます

見知らぬ神の跡を辿って



神とは誰か、人間とは何ものか——。この根源的な問いをめぐる、西洋精神の二源流である聖書思想とギリシア・ローマ思想はいわば信と知の代表にも擬せられ、相矛盾するものと捉えられるがちであった。だがそれぞれの神を追い求めた精神は、対立するのみなのだろうか。著者にとって両思想は、あるべき緊張を維持しつつ相互にこだましあってきた。両者の真摯かつ寛やかな対話を希求する18の講演とエッセイ。

著者 かわしま・しげなり氏は1938年京都市生まれ。国際基督教大学教養学部人文科学科卒業。東京大学大学院西洋古典学修士課程修了。東大教養学部助手、国際基督教大学講師、助教授、教授を歴任。現在国際基督教大学名誉教授。著書『ギリシア悲劇の人間理解』、『西洋古典文学における内在と超越——ホメロスからパウロまで』、『イーリアス』ギリシア英雄叙事詩の世界、『オイディプス王』を読む、『ギリシア悲劇——神々と人間、愛と死、イエスの七つの譬え——開かれた地平』、『ギリシア紀行——歴史・宗教・文学』、『アポロンの光と闇のもとに——ギリシア悲劇『オイディプス王』解釈』、『ロマ書講義』、『ホメロス叙事詩の世界——『イーリアス』と『オデュッセイア』など。

話題の既刊書から

倫理 DBW 版新訳

ボンヘッファー著／宮田光雄監訳

◆四六判・定価 6930 円

ボンヘッファーがライフワークとして取り組み、ナチによる逮捕と刑死によってついに未完に終わった倫理学。新版全集第6巻(DBW6)は奇跡的に亡失を免れた草稿を徹底的に校訂し、膨大な脚注を付して成立順に再構成。著者没後80年、待望の完訳なる。



クリステイアーネ・ティーツ著／橋本祐樹訳

ディートリヒ・ボンヘッファー

抵抗に生きた神学者 ボンヘッファーの神学は彼の伝記的な背景と切り離して理解することはできない。本書はその生涯を簡潔・的確に叙述することを通して、彼の思想が深化する過程と神学思想の核心を鮮やかに浮かび上がらせる。著者はマインツ大学で教鞭を執り、現在はヘッセン・ナッサウ州教会監督。原著初版は2013年、本書は2024年の第三版を底本とする。

四六判・予価3000円

エーリヒ・バイロイター著／梅田與四男訳

ツインツェンドルフ

敬虔主義の祖「仮題」

ドイツ敬虔主義の源流に当たるツインツェンドルフ伯爵。本書は、ツインツェンドルフ研究の権威であるバイロイターがロロロ双書のために書き下ろした評伝の決定版。ツインツェンドルフ本人の著作から豊富な引用を行うと同時に、当時を示す数多くの図版を挿入して理解を助ける。

四六変形判・予価2900円

ヴォルフハルト・パネンベルク著／佐々木勝彦訳

組織神学 第二巻

邦訳全三巻がついに完結。この第二巻では、創造論、終末論、人間学、キリスト論、和解論が独特無比な仕方で開催され、20世紀の後半における最大の組織神学的収獲であるパネンベルクの体系の、中核と全貌がここに明らかとなる。

A5判・予価9000円

● 9月に出版の本と雑誌

神学と社会理論

世俗的理性を超えて

ジョン・ミルバンク著／原田健二朗訳



古今の思想と活発に対論し、教会の重要性を新鮮な形で提示、衝撃を与えたポストリベラル神学の「ラディカル・オースドキシシー」。現代の古典的大著の待望の邦訳。

◆A5判・定価9350円

イザヤ書注解Ⅱ 11―27章

ジャン・カルヴァン著／堀江知己訳



改革者はヘブライ語の深い知識に基づいて預言書と真剣に取り組み、あくまでもキリスト中心に読み解こうとする。全5巻。

◆A5判・定価8470円

福音と世界

◆定価660円

10月号 特集II ファナティシズム

「狂信」と「熱狂」のはざままで

特集寄稿…布施哲、マヌエル・ヤン、哲学コレクティブ

「敷衍」、相川裕亮、山本敦久、高田怜央

時評 善きサマリヤびとになる（阿部仲麻呂）

好評連載

陶山義雄（新）、戒能信生、富田正樹、福岡揚、田島卓、今高義也、山崎ランサム和彦ほか

販売部から

読者からお電話でボンヘッファー関係の書籍についてお問い合わせがありました。図書目録を片手に幾冊か紹介しましたら、『説教全集1』と『キリストに従う』を注文してくださいました。後者はオンデマンド本です。これは一冊ごとに印刷製本する方式で、全ての品切本が対象ではありませんが、読者のニーズのある本を選んでオンデマンド化しています。品切本が入手できるので喜ばれています。電話口の方に納品まで三週間前後かかることをお伝えすると「大丈夫です、元氣な内に届けばいいです」と笑いながら答えて下さいました。お齡は八十のことでした。「近くにあったキリスト教書店もなくなり、一般書店もないので電話しました。」お元氣そうな明るい声でした。「聖書を読むだけでは分からないので、キリスト教書を読んでいます。」ご高齢に

なつても福音を尋ね求めるお姿に心から感銘を受けました。私も今年から後期高齢者の仲間入りをしました。「お声が若いですね」とおっしゃって下さり嬉しくなりました。読者との楽しいやりとりでした。11月7日から映画『ボンヘッファー ヒトラーを暗殺しようとした牧師』が全国で上映されます。牧師・神学者であったボンヘッファーがヒトラー暗殺計画に加わるという大変ショッキングな決断に焦点を当てた内容のようです。私もぜひ観たい映画です。あのお客様もご覧になるでしょうか。ボンヘッファーの著書は小社から幾冊も刊行されています。最近出版された『倫理 D B W 版新訳』は、ボンヘッファーが秘密警察の監視下でひそかに執筆した手稿を研究者たちが丹念に読み解いて本にしたものだと言っています。映画と一緒にぜひ関連書籍もお読みいただければ幸いです。(金沢)

■立ち読みコーナー■ (近刊書からときどきご紹介します)

よりよい教会と世界とを求めてやまない日本の読者のみなさん、隅に追いやられている宣教者のみなさん、この本を読んでくださり、ありがとうございます。この本を日本語に訳して下さり、多大な感謝を贈ります。みなさんがこの本を通して、信仰に基づく活動を確かなものとする香油と、あらゆる人にとって教会を安全な場所にするための道具を手にすることができればと願っています。(A・ヤーバー「日本の読者のみなさんへ」)

『宗教活動におけるマイクロアグレッション』(10月16日刊) より

福音と世界

2025年
11

A5判・80頁・定価660円・送料70円
年間予約購読料(送料共) 8760円

特集… 科学技術とキリスト教

—— 原子力、生命科学・医療、AI

全体像を求めて—— 科学と信仰の関係について

—— アリスター・E・マクグラス

生命科学技術とキリスト教——「いのち」の問題

にどう向き合うか—— 杉岡良彦

AI創造論—— 技術と芸術との間で考える

—— 濱崎雅孝

技術の政治性への応答—— 哲学とキリスト教

の観点から—— 鬼頭葉子

賀川豊彦における自然哲学・自然神学の射程

—— 波勢邦生

科学技術と宗教的ビジョン—— 芦名定道

【時評】「聖戦」と「正義」の物語—— 戦争の長期化とロシア/ウクライナの正教会…… 高橋沙奈美

【好評連載から】

◆「山上の説教」を読む 2 …… 戒能信生

◆人物・日本キリスト教史 5 …… 戒能信生

◆ぼやき牧師のさすらい説教録 8 …… 富田正樹

◆異端者の世界航海 8 …… 福岡 揚

◆証言としての旧約聖書 19 …… 田島 卓

◆八木重吉の聖書 28 …… 今高義也

◆私は告白する、私の神を 32 …… 長尾 優

◆新約釈義 ルカ福音書 47 …… 山崎ランサム和彦